

公表：令和7年3月31日

事業所名：シャイン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースが十分に確保されているか	9				・広くてのびのびとすごせたようです。	・室内、園庭共に広い空間は、皆様に喜ばれています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9					
	③	生活空間は、本人にわかりやすいマークや表示になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にな	9					
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9				・いつも裸足で過ごしていたので、清潔でした。	・ありがとうございます。裸足で過ごせるために室内は清潔を心がけています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(注2)が作成されているか	9					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	⑧	活動プログラム(注3)が固定化しないよう工夫されているか	7			2	今日行ったこと等は先生とお話ができる時に聞いていますが、特別本人の為になるような活動か？の判断が難しいです。	・毎月、毎週活動を立てており、固定化しないように心がけています。
	⑨	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	4		地域の繋がりができるような取り組みを検討させていただきます。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9					
	⑫	保護者に対して、家庭に戻った時の取り組みなどの助言や支援(注4)が行われているか	9					
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9				・連絡帳やLINEで教えていただいていたいました。	・直接対面できない家族や休みの時の面談、オンラインでお話を伺う事を心がけています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1			子どもが朝は母にすぐバイバイしようとし、帰りはすぐ先生とバイバイしようとするので、ゆっくり話せる機会が少ない。	・お子さんが支援中に面談の機会をさらに増やしていく事を検討します。

者への説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8		1		クリスマス会で、一部の親と顔を合わせましたが、他は、送迎の際に時間が被れば少しお話しする程度です。	・途中入園の方は懇親会の機会が少なかったため、遠足や親子参加の行事で顔合わせしたり、家族LINEで関係を繋がるよう、心がけています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9				・面談希望には、快く応じてもらえました。	・特に就学前など、悩んでいる家族に対し、最後までお話しを伺う事を心がけています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9					
	⑲	個人情報に十分注意しているか	9					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1		1	・朝張り切って靴を履くこともあれば、通園リュックを見ただけで、「イヤ!」と叫ぶことがあるので…でも登園後は楽しく過ごしているようですが… ・4年間、楽しく通えました。 ・いつも楽しみにしていました。	・前後の背景はあるのではないのかな、と思いますが、家で「イヤ」と言っているようにもシャインに来ると楽しんでいるようです。 ・ありがとうございます。表現豊かになりました。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	9					

(注1.)「本人にわかりやすく構造化された環境」は、自分の場所がわかるように個人のマークがついていたり、1日の予定がわかるようになっていること

(注2.「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

(注3.)「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

(注4.)「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達センター又は、児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。